

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月5日

上場会社名 株式会社 SANKYO
 コード番号 6417 URL <http://www.sankyo-fever.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤井 明彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 筒井 公久
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 03-5778-7777(代)

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	165,761	—	38,144	—	42,129	—	25,992	—
20年3月期第3四半期	165,008	29.8	41,978	19.9	44,592	18.3	27,092	16.3

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第3四半期	269.12		—	
20年3月期第3四半期	278.07		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
21年3月期第3四半期	464,759		384,716		82.8	3,995.90		
20年3月期	516,821		383,756		74.3	3,944.84		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 384,716百万円 20年3月期 383,756百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	50.00	—	100.00	150.00
21年3月期	—	75.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	75.00	150.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	189,000	△32.6	40,000	△44.7	44,000	△41.9	26,000	△43.1	270.05

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 97,597,500株 20年3月期 97,597,500株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 1,319,482株 20年3月期 316,941株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 96,586,226株 20年3月期第3四半期 97,430,134株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を適用しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）におけるわが国経済は、米国発の世界的な金融危機を背景とした企業収益の悪化などから、雇用の大幅な調整も懸念され、景気は日を迫る毎に厳しさを増す状況となりました。

当パチンコ・パチスロ関連業界におきましては、パチスロ機は引き続き設置台数の減少傾向が続いたものの、パチンコ機は設置台数が順調に増加し、ファンの嗜好の多様化に合わせた様々なスペックが市場投入され堅調に推移しました。また、プレイ代金を通常より低く抑えた低賃玉営業の拡大も顕著であり、市場環境の変化に迅速に対応できたパチンコパーラーにおいては、好業績を収めた成功例も見られます。

しかしながら、景気後退が本格化した当第3四半期以降、パチンコパーラーでは顧客数減少の懸念が高まり、先行きに慎重なスタンスを取る経営者が目立ち始めました。加えて、集客・出店競争が加速する中、閉店・廃業による店舗数の減少が依然として続いております。こうした中、集客・利益貢献が見込める商品を厳選する動きが一段と強まり、メーカー間の販売競争も厳しさを増しております。

このような環境下、当社グループでは主力のパチンコ機関連事業において、知名度の高いキャラクター・コンテンツとのタイアップにより、幅広い層に訴求するエンターテインメント性の高い大型商品のほか、ターゲットとなるファン層を明確にした個性的な商品を市場投入してまいりました。しかしながら、パチンコパーラーが慎重な購入姿勢の中、一定の評価は得られたものの、販売台数は期待を下回るものとなりました。

この結果、当第3四半期累計期間の連結売上高は1,657億円（前年同期比0.5%増）、連結営業利益は381億円（同9.1%減）、連結経常利益は421億円（同5.5%減）、連結四半期純利益は259億円（同4.1%減）となりました。

なお、事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

（パチンコ機関連事業）

パチンコ機関連事業につきましては、SANKYOブランドで5シリーズ、BISTYブランドで5シリーズの販売を行いました。特にSANKYOブランド「フィーバー大夏祭り」（平成20年8月）、「フィーバースター・ウォーズ ダース・ベイダー降臨」（平成20年11月）、BISTYブランド「七人の侍」（平成20年8月）の3シリーズにつきましては大型商品として積極的なプロモーション展開を交えながら販売活動を行ったものの、いずれも販売台数は計画した台数には届かず、課題を抱えて推移しました。この結果、売上高は1,180億円（前年同期比8.7%増）、営業利益は351億円（同0.3%増）、販売台数398千台となりました。

（パチスロ機関連事業）

パチスロ機関連事業につきましては、SANKYOブランドで2シリーズ、BISTYブランドで1シリーズの販売を行いました。販売マーケットの大幅な縮小が見込まれる中、投入タイトル数を絞り込んだことから、販売台数は前年同期を下回りましたが、BISTYブランドの「新世紀エヴァンゲリオン・約束の時」（平成20年9月）が90千台という販売成績を収め、本年度におけるナンバーワンヒット商品となりました。この結果、売上高は318億円（前年同期比18.4%減）、営業利益は78億円（同25.8%減）、販売台数128千台となりました。

（補給機器関連事業）

補給機器関連事業につきましては、売上高146億円（前年同期比10.3%減）、営業利益3億円（同25.3%減）となりました。

(その他の事業)

その他の事業につきましては、売上高12億円（前年同期比24.1%増）、営業利益4億円（同39.2%増）となりました。

※定性的情報における「前年同期比増減率」につきましては、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は4,647億円であり、前連結会計年度末と比べ520億円減少しました。これは主に現金及び預金が150億円、売上債権が209億円、有価証券が137億円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は800億円であり、前期末と比べ530億円減少しております。これは主に買掛金が340億円、未払法人税等が147億円減少したことによるものであります。

純資産は前期末と比べ9億円増加しました。これは四半期純利益を259億円計上した一方、主に配当金の支払い169億円、自己株式の取得73億円によるものであります。この結果、純資産は3,847億円となりましたが、資産負債の減少により自己資本比率は8.5ポイント増加し、82.8%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(当期の見通し)

最近の動向等を踏まえ、平成20年9月11日に公表した業績予想を修正いたしました。通期におけるパチンコ機の予想販売台数は753千台から465千台、パチスロ機の予想販売台数は151千台から134千台に見直しております。詳細につきましては、本日別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、期末配当につきましては当初予想の1株あたり75円（年間配当150円）を変更する予定はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号）を第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を適用しております。

- ② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

- ③ 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	145,474	160,556
受取手形及び売掛金	69,029	89,952
有価証券	84,995	98,775
商品及び製品	366	383
仕掛品	493	87
原材料及び貯蔵品	5,607	3,115
その他	23,156	30,037
貸倒引当金	△716	△890
流動資産合計	328,407	382,017
固定資産		
有形固定資産	50,279	49,533
無形固定資産	228	195
投資その他の資産		
投資有価証券	82,322	82,147
その他	4,414	3,807
貸倒引当金	△514	△499
投資損失引当金	△379	△379
投資その他の資産合計	85,843	85,075
固定資産合計	136,351	134,804
資産合計	464,759	516,821
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,686	90,730
未払法人税等	6,152	20,857
賞与引当金	380	710
その他	11,675	15,266
流動負債合計	74,895	127,565
固定負債		
役員退職慰労引当金	567	1,210
退職給付引当金	2,633	2,449
その他	1,946	1,840
固定負債合計	5,147	5,499
負債合計	80,042	133,065

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,882	23,883
利益剰余金	353,909	344,898
自己株式	△8,911	△1,570
株主資本合計	383,720	382,051
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	996	1,705
評価・換算差額等合計	996	1,705
純資産合計	384,716	383,756
負債純資産合計	464,759	516,821

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	165,761
売上原価	89,203
売上総利益	76,558
販売費及び一般管理費	38,413
営業利益	38,144
営業外収益	
受取利息	1,588
受取配当金	170
持分法による投資利益	1,817
その他	459
営業外収益合計	4,035
営業外費用	
支払利息	2
その他	47
営業外費用合計	49
経常利益	42,129
特別利益	
貸倒引当金戻入額	159
その他	23
特別利益合計	182
特別損失	
固定資産廃棄損	162
訴訟和解金	150
特別損失合計	312
税金等調整前四半期純利益	41,999
法人税、住民税及び事業税	15,038
法人税等調整額	967
法人税等合計	16,006
四半期純利益	25,992

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	41,999
減価償却費	3,029
引当金の増減額 (△は減少)	△947
受取利息及び受取配当金	△1,758
支払利息	2
持分法による投資損益 (△は益)	△1,817
売上債権の増減額 (△は増加)	20,922
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,883
仕入債務の増減額 (△は減少)	△34,044
その他	1,454
小計	25,957
利息及び配当金の受取額	1,957
利息の支払額	△2
法人税等の支払額	△29,055
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,143
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,050
有価証券の償還による収入	1,000
投資有価証券の取得による支出	△24,007
投資有価証券の償還による収入	24,000
貸付けによる支出	△237
貸付金の回収による収入	15
その他	△36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,316
財務活動によるキャッシュ・フロー	
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△72
自己株式の売却による収入	8
自己株式の取得による支出	△7,352
配当金の支払額	△16,981
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,398
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△27,859
現金及び現金同等物の期首残高	226,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	198,469

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を適用しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	パチンコ機関連事業 (百万円)	パチスロ機関連事業 (百万円)	補給機器関連事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	118,013	31,880	14,630	1,237	165,761	—	165,761
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	—	—	2	17	(17)	—
計	118,028	31,880	14,630	1,239	165,779	(17)	165,761
営業利益	35,188	7,877	336	430	43,833	(5,688)	38,144

(注) 1 事業区分の方法は販売品目系統によって区分しております。

2 各事業区分の主要な製品

- (1) パチンコ機関連事業 ……パチンコ機、パチンコ機ゲーヅ盤、関連部品及びパチンコ機関連ロイヤリティー収入
- (2) パチスロ機関連事業 ……パチスロ・パロット機、関連部品及びパチスロ機関連ロイヤリティー収入
- (3) 補給機器関連事業 ……パチンコ・パチスロ補給装置、カードシステム機器、ホール設備周辺機器及び補給機器関連ロイヤリティー収入
- (4) その他の事業 ……不動産賃貸収入、一般成形部品その他

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

在外支店及び在外連結子会社がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年6月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得しております。この結果、当四半期連結会計期間末において自己株式が73億円増加しております。

【参考】

前第3四半期に係る財務諸表

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 〔自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日〕
	金 額
I 売 上 高	165,008
II 売 上 原 価	93,283
売 上 総 利 益	71,724
III 販売費及び一般管理費	29,746
営 業 利 益	41,978
IV 営 業 外 収 益	2,694
V 営 業 外 費 用	79
経 常 利 益	44,592
VI 特 別 利 益	1
VII 特 別 損 失	122
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	44,471
税 金 費 用	17,378
四 半 期 純 利 益	27,092

前第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日) (至 平成19年12月31日)
	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	44,471
減価償却費	3,077
引当金の増加額	348
受取利息及び受取配当金	△ 1,464
持分法投資利益	△ 831
売上債権の増加額	△ 6,717
たな卸資産の増加額	△ 9,023
仕入債務の増加額	35,645
有償支給未収入金の増加額	△ 22,978
その他	△ 6,141
小 計	36,386
利息及び配当金の受取額	1,551
法人税等の支払額	△ 18,149
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,788
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の償還等による収入	1,700
有形無形固定資産の取得による支出	△ 9,743
有形無形固定資産の売却による収入	7
投資有価証券の取得による支出	△ 28,544
投資有価証券の償還等による収入	24,020
その他	△ 631
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,192
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式取得による支出	△ 15
自己株式売却による収入	0
配当金の支払額	△ 9,747
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,761
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の減少額	△ 3,165
VI 現金及び現金同等物の期首残高	195,157
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	191,991

セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

	パチンコ機関連事業 (百万円)	パチスロ機関連事業 (百万円)	補給機器関連事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	108,610	39,087	16,312	998	165,008	—	165,008
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	—	—	—	11	(11)	—
計	108,621	39,087	16,312	998	165,019	(11)	165,008
営業費用	73,533	28,472	15,861	689	118,556	4,473	123,030
営業利益	35,087	10,614	450	309	46,463	(4,484)	41,978

(注) 1 事業区分の方法は販売品目系統によって区分しております。

2 各事業区分の主要な製品

- (1) パチンコ機関連事業 ……パチンコ機、パチンコ機ゲージ盤、関連部品及びパチンコ機関連ロイヤリティー収入
- (2) パチスロ機関連事業 ……パチスロ・パロット機、関連部品及びパチスロ機関連ロイヤリティー収入
- (3) 補給機器関連事業 ……パチンコ・パチスロ補給装置、カードシステム機器、ホール設備周辺機器及び補給機器関連ロイヤリティー収入
- (4) その他の事業 ……不動産賃貸収入、一般成形部品その他

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

在外支店及び在外連結子会社がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。